

TeX でいこう！

インストール

TeX Live 2023

- ・ Installing TeX Live over the Internet

<https://texwiki.texjp.org/?TeX%20Live%2FWindows>

- ・ TeX インストーラ 3

<https://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~abenori/soft/abtexinst.html>

- ・ インストール先

C:\w32tex¥

- ・ TeX Works をスタートメニューにピン止めする

C:\w32tex¥bin64¥texworks.exe

TeX Works の使い方

<https://texwiki.texjp.org/?TeXworks%2F%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9>

1. tex ファイルを開いて編集
2. 左上の緑の三角をクリックしたら、コンパイルして、PDF で出力される。
 1. 画面下部に処理過程が出るので、エラーがあったら、そこを修正する。

W32TeX の使い方

- ・ コマンドラインからコマンドを打って使う
- ・ platex file.tex
 - ・ これで、file.dvi ファイルが出力される。
- ・ dvi2pdf file.dvi
 - ・ これで、file.pdf という PDF ファイルが出力される。

TeX Wiki

<https://texwiki.texjp.org/?Microsoft%20Windows>

CloudLaTeX

<https://cloudlatex.io/>

<https://nkgtt.hatenablog.jp/entry/2020/12/24/000000>

<https://zenn.dev/arks/articles/3697b25d03f8a8>

Overleaf

- ・ もともとは open source

<https://github.com/overleaf/overleaf>

- ・ 有料版

<https://ja.overleaf.com/>

- ・ Overleaf で科研費 LaTeX

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/misc-latex.html>

- ・ Overleaf を使った日本語論文の作成

<https://qiita.com/fujino-fpu/items/d92d185da730e25743cb>

TeXstudio

<https://www.texstudio.org/>

Beamer でプレゼン

<https://dreamer-uma.com/latex-beamer/>

KakenhiLaTeX

<http://osksn2.hep.sci.osaka-u.ac.jp/~taku/kakenhiLaTeX/>

- ・ `\input{ ファイル名 }` で、同じディレクトリー内に別に作ってある「ファイル名.tex」をそこに読み込む。
 - ・ 別途そのファイルを編集するか
 - ・ コメントアウト (%) して直接書き込む

科研費 LaTeX

<https://texwiki.texjp.org/?%E7%A7%91%E7%A0%94%E8%B2%BBLaTeX>

- ・ これを使うためだけにでも LaTeX 使うことをお勧め。

Using LaTeX in Linguistics

<https://www.linguisticsociety.org/content/using-latex-linguistics>

Gallery — Linguistics

<https://ja.overleaf.com/gallery/tagged/linguistics>

LATEX and Linguistics

https://conf.ling.cornell.edu/miawiegand/Latex_Slides.pdf

Template

APA7

<https://www.overleaf.com/project/65158f5eb78b00018fa500f8>

R との連携

GLMM の結果の表を LaTeX に入れるために .tex に変換するには、

<https://github.com/gorkang/html2latex>

- ・ インストール
- ・ フリーのオフィスソフトの LibreOffice を事前にインストールしておくこと。
 - ・ .html ファイルを、LibreOffice をつかって LibreOffice の .odt ファイルに変換してから、
 - ・ .odt ファイルを .tex ファイルに変換するので。
- 1. `sjPlot` パッケージに含まれる `tab_model()` を使って、まずは、.html ファイルにする
- 2. その後、`html2pdf()` を使って、.tex ファイルにする。
- ・ ディレクトリー名 (フォルダー名) 内に、空白スペースがないように

コマンドメモ

文字のスタイル

- ・ スタイルとコンテンツを分けるという発想がもとにある
- ・ 強調する部分は `\emph{}` で囲む
 - ・ 日本語はゴシックで表示され
 - ・ 英語はイタリックで表示される。
 - ・ 日本語の文章中で、英語だけイタリックになるのは変なので、調整が必要
 - ・ `*\emph{}` の中で `\emph{}` を入れ子にすると、キャンセルされる

文字の色

`{\color{red}` 赤くしたい文字列 `}`

コメントアウト %

- ・ 連続した複数行は、選んでおいて、`Ctrl+/`

行間

`smallskip` 少しだけ空行を入れる

`medskip` 中くらい空行を入れる

`bigskip` 一行くらい空行を入れる

記号

- ・ チルダ `\sim`

エスケープが必要な記号

#

\$

%

&

—

```
{  
}
```

目に見えない文字 ``

- ・ 表の中の桁の調整とかに

箇条書き

- ・ 項目の見出しを指定したい場合は `\item[見出し]` として、見出しの部分に記号などを入れる。(例: `\item[(d)]`)

箇条書きの項目間のスペースを狭める

- ・ これを `\begin{enumerate}` の下に記入

図の挿入

```
begin{figure}  
includegraphics{ ファイル名 }  
caption{ キャプション }  
label{fig: ラベル名 }  
end{figure}
```

- ・ これで、本文中で `\ref{fig: ラベル名 }` で番号で表示されるようになる。

Figure `\ref{fig: ラベル名 }` shows

- ・ センタリング

`\centering`

- ・ スケール

`\includegraphics[scale=0.60]{ 図 .png }`

脚注

```
footnote{ テキスト }
```

- ・ 本文中の注を付けたいか所に直接挿入
- ・ 番号は自動でつく
- ・ `{ テキスト }` 部分が注の内容。

そのまま出力 verbatim

```
begin{verbatim}  
end{verbatim}
```

- ・ `verbatim` の後ろにアスタリスクを付けると、半角スペースも記号で表示

文献

- ・本文中

`cite{ 文献の記号 }`

- ・文献の記号は、Bibtex のデータ内につけた記号
- ・丸カッコ内に文献を入れる場合、p をつける

`citep{ 文献の記号 }`

- ・後ろの References

`bibliography{ 文献ファイル名 }` % 拡張子なし

`bibliographystyle{plain}` % 出力スタイル アルファベット順

論文スタイル

TeX Wiki 学会スタイル等

<https://texwiki.texjp.org/?%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E3%82%B9%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%83%AB%E7%AD%89>

- ・ PLOS

<https://journals.plos.org/plosone/s/latex>

- ・ Template and Sample for Authoring APA7 Manuscripts
 - ・ [Overleaf](#) で配布されているテンプレート
 - ・ [Overleaf](#) にログインするとダウンロードできる。

<https://ja.overleaf.com/latex/templates/template-and-sample-for-authoring-apa7-manuscripts/pvhtwercvcmosp>

- ・ ELSEVIER LaTeX instruction

<https://www.elsevier.com/authors/policies-and-guidelines/latex-instructions>

オンライン便利ツール

表の作成

- ・ <https://doratex.github.io/misc-files/excel2tabular/>
- ・ https://www.tablesgenerator.com/latex_tables
 - ・ CSV でつくったものを
 - ・ File > Paste table data で貼り付ける

References

TeX と LaTeX

<https://blog.wtsnjp.com/2016/12/19/tex-and-latex/>

LaTeX 入門

<https://medemanabu.net/latex/>

Learn Latex in 5 minutes

<https://youtu.be/Y-kXtWdjt看w>

文系人間ののためのやさしい LaTeX 入門

<http://ideas.paunix.org/latex/index.htm>

The LaTeX for Linguists

<https://www1.essex.ac.uk/linguistics/external/clmt/latex4ling/>

BibTeX.org

<http://www.bibtex.org/>

LaTeX Wikibooks

<https://en.wikibooks.org/wiki/LaTeX>

packages with support for linguistics

<https://www.ctan.org/topic/linguistic>

LaTeX バージョンの問題

LaTeX2 がこれまで使われていたが、expl3 という TeX マクロを使った新しいバージョンが使われだしてきた

- <https://zenn.dev/k16/articles/e7690b036e534c>

さまざまな LaTeX

- LuaLaTeX へ移行すべきという意見

<https://www.metaphysica.info/uplatex-to-lualatex/>

- pLaTeX
- upLaTeX (unicode 対応版)
- pdfLaTeX
- LuaLaTeX
 - Lua というプログラミング言語で LaTeX を拡張
 - TrueType/OpenType を使用
 - <https://texwiki.texjp.org/?LuaTeX-ja>
 - <https://ja.osdn.net/projects/luatex-ja/wiki/LuaTeX-ja%E3%81%AE%E4%BD%BF%E3%81%84%E6%96%B9>
- XeLaTeX
 - OS のフォントを使用
 - <https://tug.org/xetex/>

Tips

Overleaf のソースコードをローカルで使う

- Overleaf の左上のメニューのあたりから、ダウンロード ソース を選んでダウンロード
- 以下のエラーが出たら以下のように修正
 - pdfoutput のエラーはコメントアウト
 - pdf ファイルの読み込みのエラーは ,dvipdfmx を追加する

```
documentclass[nonatbib,dvipdfmx]{elsarticle}
```

- Dvipdfmx

<https://tug.org/dvipdfmx/doc/dvipdfmx/dvipdfmx.pdf>